

花巻 歴史探訪

【問い合わせ】教育委員会文化財課 ☎45-1311



市指定無形民俗文化財(民俗芸能)

なか おと ねん ぶつ おどり
中乙念仏踊

所在地(大迫町内川目)

中乙念仏踊が踊られるようになったのは、江戸中期ごろといわれています。その始まりは天和2年(1682年)、大迫町大迫にある到岸寺に念仏堂が建立された際、福島県岩城郡から「じゃんがら念仏踊」を招き大いににぎわったことから、内川目地域一帯に伝わったと考えられています。現在、北上山地では唯一伝承されている、貴重な念仏踊です。

踊り手と歌い手が分かれる念仏踊は、来世の幸福を祈り自ら念仏を唱えながら踊る踊念仏が形を変えたものです。中乙念仏踊は、大笠を振り回す迫力ある舞や、太鼓の周囲を回りながらバチで打ち鳴らす曲打ち、衣装や笠の華やかな色合いなどが特徴です。

中乙念仏踊は、9月に行われる大迫郷土芸能祭などで披露されます。皆さんも、会場に足を運んでみませんか。

[花巻市ホームページアドレス]
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp>

[花巻市ホームページモバイル版アドレス]
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/mobile/living/koho1/index.html>

QRコード→



[広報はなまきモバイル版アドレス]
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/mobile/living/koho1/index.html>

QRコード→



古紙を配合した再生紙
を使用しています

次回の広報はなまきは、9月1日に配布する予定です。

広報はなまき No.107